



令和4年10月27日 市民局生活文化スポーツ部 文化振興課 電話 245-5261

千葉市美術館企画展

「ブラチスラバ世界絵本原画展 絵本でひらくアジアの扉—日本と韓国のいま」を開催します ~世界最大規模の絵本原画コンクール受賞絵本と、日本と韓国の絵本原画を紹介~

千葉市美術館では、企画展「ブラチスラバ世界絵本原画展 絵本でひらくアジアの扉―日本と韓国のいま」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。

本展は、世界最大規模の絵本原画コンクールの2021年の受賞作を展示、中でも日本と韓国の絵本原画、文化に焦点を宛てる展示となります。

開催に先立ちまして、11月11日(金)15:00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しください。

- 1 会期 令和4年11月12日(土)~12月25日(日)休館日 12月5日(月)※休室日 11月21日(月)
- **2 会場** 千葉市美術館(中央区中央3-10-8)
- 3 主催 千葉市美術館、朝日新聞社
- 4 ポイント ◆千葉県出身のイラストレーターが受賞

「ブラチスラバ世界絵本原画展」(略称 BIB) は、スロバキア共和国の首都ブラチスラバで2年ごとに開催される世界最大規模の絵本原画コンクール。1967年の創設以来、数多くのアジアの国が参加しており、日本は第1回から継続して作品を送り出し、受賞を重ねてきました。今回の BIB2021 では、千葉県出身のしおたにまみこが第3席にあたる金牌を受賞しました。本展覧会では、日本だけでなく近年活躍のめざましいアジア諸国に焦点をあてるとともに、BIB2021 受賞作家の絵本をご紹介します。

◆日本と韓国の出品作家による原画・絵本の展示

本展覧会では、アジア諸国の中でも近年とりわけ注目を集める韓国と、日本の絵本に注目します。BIB2021 では、日本のしおたにまみこが第3席にあたる金牌を受賞した他、韓国のイ・ミョンエと中国のチャン・ツァオが第2席にあたる金のりんご賞を獲得するなど、近年はアジア諸国の台頭が目立ちます。BIB2021 に出品した日韓の作家による原画と絵本を展示するほか、作家、編集者、出版社を取材した特集展示で各国の絵本文化を紹介します。

◆国際的に盛り上がる韓国の絵本文化に注目

BIB2011でのチョ・ウンヨンのグランプリ、ユ・ジュウヨンの金のりんご賞受賞をきっかけに、韓国のイラストレーターが大躍進しています。韓国での創作絵本の成り立ちは1980年代後半と比較的遅いものの、他国とは異なる新鮮な絵本文化が醸成され、2000年代から海外で高く評価され注目を集めています。本展では「BIBからみる韓国の絵本」として14人の出品作家の絵本と約100点の原画を展示、日本では目にする機会の少ない韓国の絵本を直に手に取ることができます。

◆伝統的な日本の絵本文化を再確認

日本はBIB 第1回展で瀬川康男の『ふしぎなたけのこ』がグランプリを受賞して以来、これまで多くの作家が受賞を重ね、長く続く絵本文化に根ざした力のある作品を出品しています。近年は世界的にデジタル処理を施す原画作品が多い一方、日本のほとんどの絵本原画がアナログ技法で制作されていることも特徴です。本展の特集「BIB からみる日本の絵本」では15人の出品作家の絵本と約70点の原画を展示。金牌を受賞した、しおたにまみこ『たまごのはなし』は原画のほか、スケッチや下絵も展示し制作過程を紹介します。

- 5 観覧料 一般 1,000円(800円)、大学生 700円(560円)
 - ※ 小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。
 - ※ () 内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金。
 - ※ 前売券は、ローソンチケット (Lコード:32248)、セブンイレブン (セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて11月11日まで販売 (11月12日以降は当日券販売)。
 - ※ ナイトミュージアム割引:金・土曜日の18:00以降は観覧料半額
- 6 **関連イベント** 展覧会に関連したトークイベントやコンサート、ワークショップを開催。
- **7 その他** 本展のチラシ別添

「ブラチスラバ世界絵本原画展 絵本でひらくアジアの扉—日本と韓国のいま」 披露説明会 開催概要

日時 11月11日(金) 15:00から

場所 千葉市美術館 8階展示室

内容 展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明いたします。

<本件に関するお問い合わせ先> 千葉市美術館 担当学芸員 山根佳奈、庄子真汀

広報担当 磯野 愛

〒260-0013 中央区中央3-10-8

電 話 043-221-2311

FAX 043-221-2316

E-Mail isono@ccma-net.jp